



ニムオロ体験学校 夏休み中の小中学生15人が2泊3日の野外生活を体験。テントを張り、雄大な自然の中、夕食は石で作ったかまどと拾い集めたまきを使い、カレーライス作りに挑戦しました。(7月28日：チャチャラベツ川河口)



第28回北方領土ノサブ岬マラソン大会 絶好のマラソン日和の中、北方領土返還の願いを胸に528人のランナーが自慢の健脚を競いました。沿道やゴール付近では、たくさんの方の応援が送られました。(8月23日：瑠璃瑠小学校前)



沖縄・函館豆記者団来根 沖縄・函館から総勢70名の小中学生による豆記者団が訪れ、熱心に北方領土問題を学びました。質問取材では「北方領土はなぜ還されないのか」などの質問が続々と出されました。(8月6日：総合文化会館)



中曽根外務大臣北方領土視察 北方領土視察のため中曽根外務大臣が来根し、大勢の地元市民に歓迎されました。当日は薄曇りでしたが、貝殻島や水晶島の島影が確認でき、北方領土までの距離の近さを実感していました。(8月20日：納沙布岬)



幼児から小学生の皆さんには、毎週土曜日午後2時30分から3時まで、ボランティアによる「おはなし会」を開いています。こちらにもぜひ、親子でご参加ください。

司書 千葉 風子

絵本には、子どもが初めて出会う世界がいっぱいあります。言葉の分からない0歳児に絵本の読み聞かせは早いと思われるかもしれませんが、意外なうれしい反応を見せてくれます。親子の触れ合いと温かな語りかけで、心が穏やかになり、言葉の世界も大きく広がっていきます。

図書館では、毎週火曜日午前11時からおはなしの部屋で、0歳から3歳児のお子さん向けに絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。絵本の絵や色、言葉やリズムは小さい子たちの目と耳を刺激し、語りかけると絵本を指差したり、声を出したり、笑顔になったり、ときにはよだれを流したり、さまざまな反応を見せてくれます。ちゃんと絵本の楽しみ方を知っているのです。

成長の中で、言葉や絵の意味が分かってくると、絵本をより満喫できるようになります。めくられるページの静止した絵が想像をかきたて、絵本の世界と子どもの心がつながります。絵本の世界をそのまま体験している気分になっているのではないのでしょうか。絵本の楽しい体験は豊かな心をはぐくみ、本が好きになる第一歩となるでしょう。

「おはなし会」では、ほかの子どもたちの反応も楽しみつつ、みんなで和やかに「おはなし」を聞くことができます。また、家庭での読み聞かせには、図書館の「乳幼児向けおすすめ絵本コーナー」などを利用してみてはいかがでしょうか。

「ちいさい子のおはなし会」に来てみませんか



静かな憩いのときを
あなたの図書館で
TEL(23)5974番